

# 平成30年度教育委員会点検評価報告書

(平成29年度分)

雲南市教育委員会

## 目 次

### 1. 平成29年度 教育委員会の活動状況

- (1) 雲南市が目指す教育 ……………2
- (2) 平成29年度の新たな事業 ……………2
- (3) 教育委員会の運営・活動 ……………3

### 2. 点検評価に当たって

- (1) 点検評価の対象 ……………4
- (2) 点検評価の方法 ……………4

### 3. 平成29年度 教育委員会点検評価

- 目標 1 学校・家庭・地域（企業・NPO等を含む）・行政の協働を推進し、  
社会全体の教育力を向上させる。 ……………6
- 目標 2 学力の向上を目指すとともに、学校を支援する体制を整備する。 ……………6
- 目標 3 保幼小中高の連携・接続による特色ある学校教育を推進する。 ……………7
- 目標 4 学校教育・社会教育の連携・協働により、「土曜日の充実」をキャ  
リア教育の視点で取り組む。 ……………7
- 目標 5 「子ども政策局」、教育NPO法人「カタリバ」との協働により、  
子どもや家庭の支援の充実を図る。 ……………7
- 目標 6 安全・安心な教育環境の実現と充実した教育活動を支える環境を  
整備する。 ……………8
- 目標 7 人権・同和教育、平和教育を推進する。 ……………8
- 目標 8 文化財・文化振興行政の充実と賑わいのあるまちづくりを推進する。 ……………8
- 目標 9 生涯スポーツを推進する。 ……………9

## 1. 平成29年度 教育委員会の活動状況

### (1) 雲南市が目指す教育

平成26年度に策定した「第3次雲南市教育基本計画」では、雲南市が目指す「教育の基本目標」を継承し、次の3点を基本政策としています。

- ① 雲南市教育の推進体制の構築
- ② 「生きる力」を育てる学校教育の推進
- ③ 心豊かでたくましい人づくりをめざした社会教育の推進

この基本計画の3年目に当たる平成29年度は、次の9つの重点施策を掲げ、各種の具体的な事業に取り組みました。

- ① 学校・家庭・地域（企業・NPO等を含む）・行政の協働を推進し、社会全体の教育力を向上させる。
- ② 学力の向上を目指すとともに、学校を支援する体制を整備する。
- ③ 保幼小中高の連携・接続による特色ある学校教育を推進する。
- ④ 学校教育・社会教育の連携・協働により、「土曜日の充実」をキャリア教育の視点で取り組む。
- ⑤ 「子ども政策局」、教育NPO法人「カタリバ」との協働により、子どもや家庭の支援の充実を図る。
- ⑥ 安全・安心な教育環境の実現と充実した教育活動を支える環境を整備する。
- ⑦ 人権・同和教育、平和教育を推進する。
- ⑧ 文化財・文化振興行政の充実と賑わいのあるまちづくりを推進する。
- ⑨ 生涯スポーツを推進する。

### (2) 平成29年度の新たな事業

#### ① 県派遣指導主事の増員配置

これまで、特別支援教育担当1名、学力向上担当と生徒指導担当を兼ねて1名の計2名体制であった県派遣指導主事について、平成29年度から1名増員し、3名を配置しました。

#### ② コミュニティ・スクールの導入促進

平成31年度の市内全7中学校区のコミュニティ・スクール化を目指し、平成29年度には海潮中学校区、三刀屋中学校区において学校運営協議会を設置し、他の5中学校区においても導入に向け設立準備委員会の設置や研修に取り組みました。

#### ③ 教育魅力化推進事業による高校への魅力化コーディネーターの配置

雲南市教育魅力化推進会議からの提言に基づき雲南市教育魅力化推進構想を策定しました。また、県立高校に2名の魅力化コーディネーターを配置し、地域課題研究等の事業を実施しました。

④ すワン学習塾「まなびい」運営事業

子ども家庭支援センター「すワン」の学習塾「まなびい」を開設し、読み書きなどに困難を抱える児童生徒に個別指導を行う体制を整備しました。

⑤ 小中学校施設整備保全計画のための基礎資料作成

小中学校施設の老朽度調査を行い、小中学校施設の整備方策を検討するための基礎資料を作成しました。

⑥ 学校給食センター建設事業

老朽化した4か所の学校給食センターを統合する、新たな統合学校給食センターの建設に向けて、実施設計を行いました。

⑦ 永井隆記念館建設事業

永井隆博士の「平和を」や「如己愛人」の精神を次世代に伝えていくため、永井隆記念館整備基本計画を策定し、施設整備の基本設計を行いました。

⑧ 大東図書館施設整備事業

これまで仮移転としていた大東図書館の増改築工事を行い、本移転として整備を行いました。

⑨ 加茂 B&G 海洋センターの改修工事

健康づくり拠点施設整備基本計画に基づき、平成30年度中の竣工を目標に改修工事に着手しました。

⑩ 大東ふれあい運動場整備事業

整備から15年以上が経過し老朽化が進んでいることから、平成29年度の公認検定に対応するため施設改修工事を行いました。

⑪ 大東公園野球場整備事業

大東公園野球場に隣接する公園やサッカー場への安全対策として、内野フェンスを設置しました。

### (3) 教育委員会の運営・活動

① 総合教育会議

平成29年度は、2回開催し、次のことを協議しました。

- ・第1回 義務教育学校の概要についての共通認識を図り、メリットやデメリット、課題等についての意見交換を行いました。

・第2回 広島県府中市における小中一貫教育についての視察結果を参考に、義務教育学校の導入についての協議を行いました。

② 定例会、懇談会、臨時会

次ページ掲載資料のとおり実施しました。

③ 教育委員による学校訪問・各種行事への参加

・学校訪問

学校図書館の活用状況、英語教育の取組、新任校長校における学校経営状況、新設のこども園・小規模幼稚園での学校や地域との連携の取組等についての意見交換を行いました。

・各種行事への参加

成人式等各種式典、行事へ参加しました。

④ 視察研修

広島県府中市教育委員会へうかがい、府中市における小中一貫教育及び義務教育学校の取組、府中明郷学園での義務教育学校の状況について説明を受けました。さらに、府中明郷学園を訪問し義務教育学校の取組を学びました。

## 2. 点検評価に当たって

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成20年度から毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会に提出するとともに、市民の皆様へ公表することとされています。

### (1) 点検評価の対象

今回の点検評価は、平成29年度の重点施策に基づき実施した各種事務事業を対象としました。

### (2) 点検評価の方法

行政評価における「施策マネジメントシート」及び「事務事業マネジメントシート」をふまえて、教育委員会で、必要性、効率性、有効性、公平性等の様々な観点から分析し、課題や問題点、今後の改善点について点検評価することとしました。

## 資料

教育委員会の活動					
(1) 会議・活動の開催状況					
項目	単位	平成29年度	平成28年度	増減	事業内容
定例会	回	12	12	0	毎月1回開催
臨時会	回	1	4	▲ 3	必要に応じ開催
懇談会	回	7	5	2	必要に応じ開催
傍聴者数	人	0	0	0	
総合教育会議	回	2	2	0	
視察研修	回	1	1	0	必要に応じ実施
(2) 審議の状況					
項目	単位	平成29年度	平成28年度	増減	事業内容
定例会審議案件	件	127	105	22	
報告事項	件	24	19	5	
承認事項	件	6	5	1	
審議事項	件	31	36	▲ 5	
指定事項	件	2	2	0	
教育長報告	件	64	43	21	
臨時会審議案件	件	1	4	▲ 3	
懇談会協議件数	件	11	7	4	
(3) 定例会・臨時会・懇談会以外の活動状況					
項目	単位	平成29年度	平成28年度	増減	事業内容
学校訪問	件	10	11	▲ 1	

### 3. 平成 29 年度 教育委員会点検評価

#### 目標 1 学校・家庭・地域（企業・NPO 等を含む）・行政の協働を推進し、社会全体の教育力を向上させる。

- 地域全体の教育力向上に向け、小学校への地域コーディネーターの配置や地域自主組織との関わりにより、ふるさと教育の充実を図りました。
- 教育フェスタについては、学社連携による総合的な教育施策の成果発表の場としてだけでなく、社会全体の教育力向上という視点から、保護者や地域住民の参加を促すテーマ選定を行うことによって、今後の生き方につなげていくことができると考えます。
- コミュニティ・スクール導入事業は、段階的に導入を進めていく中で、目指す子ども像の共有、学校運営協議会の設置や学校支援地域本部との関連等について、今後さらに保護者や地域住民の理解と協力が必要となるため、丁寧な説明と議論の場の設定や広報活動が必要だと考えています。

#### 目標 2 学力の向上を目指すとともに、学校を支援する体制を整備する。

- スーパーティーチャー事業については、教員の指導力向上が子どもたちの学力向上につながり、現場の教員からも肯定的な評価を多く受けていることから、継続することが必要だと考えています。
- 校長協議会補助金については、校長の学校経営方針に基づき、学校独自の取組を促進するために事業を継続することが望ましいと考えます。また、学校の特色を活かしたプランに補助金を重点配分することについて、引き続き検討する必要があると考えます。
- 吉田中学校区での英語教育の取組の成果を市内各校に広げると共に、担任を中心とした小学校における英語学習の充実に取り組みました。AET の配置は、小学校英語教育の成果向上のためにも継続が必要だと考えます。
- 学校図書活動充実事業は、自ら学ぶ意欲や探求心、豊かな感性の育成に大いに資する事業であると考えています。学校司書の配置校では、児童・生徒の学校図書館の活用が進んでいる実態をふまえ、市内全校への配置を図る必要があります。

### **目標3 保幼小中高の連携・接続による特色ある学校教育を推進する。**

- キャリア教育の推進により、自分には良いところがあると思う生徒の割合や、将来叶えてみたい夢がある生徒の割合が平成27年度から引き続いて増加しています。
- 「夢発見プログラム」は、保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校一貫した本市の特色あるキャリア教育推進プログラムです。これに基づき自立した社会性のある大人となるためのキャリア教育を一層進めていくべきであると考えます。  
「夢」発見ウィーク事業をはじめとした各種事業については、成果発表の場や教職員の指導に活かす取組の充実等について検討していく必要があります。
- 教育魅力化推進会議からの提言に基づき雲南市教育魅力化推進構想を策定しました。これまで取り組んできた保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校でのキャリア教育に加えて、高等学校との連携が進むことにより、特色ある雲南市の教育施策の一層の充実や教育の魅力化につながるものと考えています。

### **目標4 学校教育・社会教育の連携・協働により、「土曜日の充実」をキャリア教育の視点で取り組む。**

- 土曜学習「中高校生の幸雲南塾」に年間を通して取り組み、雲南市の魅力発見、発信など生徒に多様な学習や活動の場を提供することができ、社会教育によるキャリア教育の推進を図ることができました。
- 土曜日・放課後を地域における「総合的な学習の時間」と位置付けています。児童生徒の柔軟な思考や行動力の育成は将来の地域づくりに大いに役立つものです。この視点からも、児童生徒の興味関心を喚起し、自発的な参加意欲が増すようなプログラムの充実、コミュニティ・スクールとの連携等が必要であると考えています。

### **目標5 「子ども政策局」、教育NPO法人「カタリバ」との協働により、子どもや家庭の支援の充実を図る。**

- 教育NPO法人「カタリバ」への業務委託により設置している「教育支援センター」は保護者や学校から評価する声をいただいております、その重要度は増してきています。引き続き、学校現場や保護者等と連携を図り、子どもに寄り添った支援が必要だと考えています。
- 平成27年度に設置された「子ども政策局」、及び教育NPO法人「カタリバ」との



協働は、いずれも所期の目的を達しつつあると考えます。「子ども家庭支援センター」についても、関係機関との連携も進み相談件数も600件を超え、保健・福祉・教育の総合相談窓口としての認知度が高まっています。専門職員等の人員増を含め、迅速な対応や連携のできる組織及び体制の充実が必要だと考えています。

#### **目標6 安全・安心な教育環境の実現と充実した教育活動を支える環境を整備する。**

- 平成28年度までに、市内の小中学校22校の普通教室へのエアコン設置を完了しました。更に、特別教室への計画的なエアコン設置が必要だと考えます。また、今後、子どもの安全・安心を図るべく学校施設の計画的な整備が必要であると考えています。
- 平成30年度からの統合学校給食センターの建設準備に取り組みました。今後は、調理受託業者の選定、地元野菜生産者との連携により安全・安心な給食の提供を進めることが必要だと考えています。

#### **目標7 人権・同和教育、平和教育を推進する。**

- 人権・同和教育、平和教育は事業の継続が目標達成への重要な一歩となるとの考えから、定例公開講座（3回）、同和問題地域講座（3回）など、地域での研修会を開催し、広く学び、考える機会を提供しました。
- 「新永井隆記念館」建設を一つの契機に、永井隆博士の「平和を」の精神を次世代に継承し、それを市内外に更に発信していくために、建設基本構想は衆知を集めて策定しました。
- 「永井隆平和賞」は雲南市における平和教育を推進する上で重要な取組です。今後も、世代を超えて平和を考える事業とするために、式典や学校での平和学習のあり方などの継続した取組とするための検討が必要だと考えています。

#### **目標8 文化財・文化振興行政の充実と賑わいのあるまちづくりを推進する。**

- 古代出雲王国加茂岩倉まつりや、市内の小中学校で児童生徒を対象とした銅鐸の铸造授業等を実施し、文化財愛護意識の高揚を図りました。
- 市内の図書館整備を進めました。図書館は市民全体の文化振興や生涯学習の拠点となる施設であることから、更なる整備が必要だと考えています。

## **目標 9 生涯スポーツを推進する。**

- 大東ふれあい運動場や加茂 B&G 海洋センターの改修により、一層の生涯スポーツの場の提供を図ることができると考えています。
- 市民のスポーツ意識や施設利用の状況などの実態を把握し、これらを踏まえた交流活動の充実など事業内容の工夫やスポーツ環境の整備を進めることによって、生涯スポーツ推進を一層図ることが必要だと考えています。